

大津島データ 175世帯
人口 246人 男100人 女146人
高齢化率 78.8%
(平成30年9月30日現在)

潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん (ふれあいセンターロビーに展示中)



行事報告



9月15日(土) 馬島港を中心に海底清掃を実施しました。
島内外より141人の方が参加し、海に不法投棄された多くのゴミを拾い上げるなど、皆さんの協力によりきれいな海になりました。



9月25日(火) 福田果樹園および須金農村改善センターにて交流会が行われ、大津島より23名が参加しました。春の大津島桜まつり以来、半年ぶりにお会いする須金の皆さんと交流を深めました



大津島の最新情報は、オフィシャル Face book ページ『のほほん大津島』で紹介しています。
<https://www.facebook.com/nohohon.oodushima/>

若潮の会通信

No.26



文：刈田康志

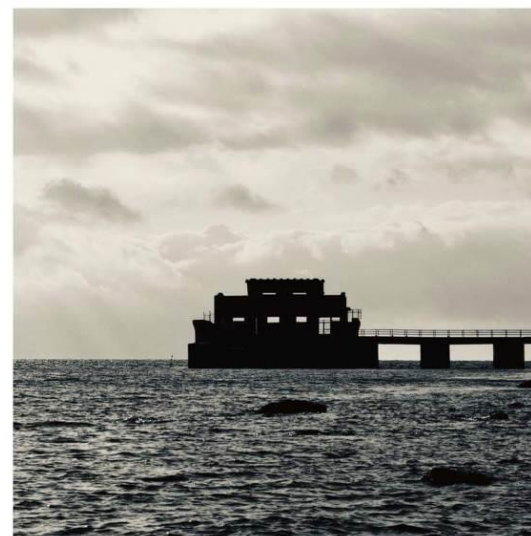
今年の6月に、若潮の会数名で、ポテトマラソンのためのサツマイモを植えました。
残念ながら、今年のポテトマラソンは中止になりましたが、10月の「島マルチエ」で販売することとなり、ひと安心です。
若潮の会で…と書きましたが、実際はほとんど佐々木義守さんに畑の面倒を見てもらっている始末です。
種芋を植えた時も、ほとんど安達雅之さん、佐々木義守さん、紀代さんに活躍してもらい、若潮の会のメンバーは、「なんかその腰は?」「鍬の持ち方がだめじゃ」とダメ出しでした。
でも、育てた芋を食べてくれる方の笑顔の思い浮かべながら、畑仕事の充実感を満喫しています。
これから収穫です。みなさん、出来上がりをお楽しみに!!

羊の羽は丘にあり

vol 08

回天。
この言葉の意味を知った時、海上の訓練場を目にした時、当時の兵士の言葉を読んだ時、戦争を知らない私は、涙でしか感情を表現出来ませんでした。
触れるべき歴史。失ったものも多いたとは思いますが、学んだ事も多いはず。自分なりにいい。私と同じく若い世代にはこの歴史の風景から何かを感じ、今と未来を考えるきっかけとなってくれたらと思います。

松田翔剛



佳奈ちゃん(10月23日撮影)

こんにちは かなちゃん

大津島駐在所の山根佳之(よしゆき)さん、祐(ゆう)さんとご夫妻との間に、待望の赤ちゃんが誕生しました。

大津島では3年ぶりの出来事ですので、お二人に、出産にまつわるエピソードなどを伺いました。

●お名前の由来は?
「まず、私の名前(佳之)から一文字を取り、いい画数の組み合わせ

せである「奈」の字を妻が選び、佳奈(かな)と名付けました。

●出産の時の様子をお聞かせいただけますか?
「予定日より早く、夜中に陣痛がはじまりましたので、徳山通船に頼んで、かかりつけのお医者さんに行きました。しかし、すぐに生まれそうな状態だったため、そのまま徳山中央病院に搬送され、出産しました。」

●生まれてからの生活はどうですか?
「予定よりも1か月早く生まれましたが、退院後は妻の実家で1か月ほど生活をし、10月20日に島に帰ってきました。」

●お誕生日は8月19日
「ええ、実は奇しくも妻と同じ誕生日です。あと、潮流が出来上がりましたら記念に実家に届けようと思います。」



(聞き手：大津島支所 有井)

最後に、新米パパとママから佳奈ちゃんへのメッセージです。



親子3人で記念写真(10月23日撮影)

佳奈ちゃんへ

予定より1か月早く生まれてきて心配していたのですが、その心配を吹き飛ばすほどの元気さで、私たち夫婦は驚いています。
佳奈ちゃん、健やかに元気に育ってね!

新米のパパ・ママも頑張ります。

佳之・祐

知っちょるかね

ハマグリ掘りの話

文川松本千恵子

子供の頃は、どこの浜でもハマグリ(※)がよう出た。大人も子供も丸籠を下げて、ハマグリ掘りに励んだもんじゃった。

黒髪島に住んでいた頃は、太刀ノ浦から仙島手前のヒトの浜まで歩いて行った。ヒトは砂浜じゃから子供でも簡単に掘れる。出る端から丸籠に放たり込もうて、貯まってくのが面白うて潮が満ちるのにも気がつかん。足が濡れて初めてずいぶん潮が満ちた事に気付く。磯に行ったちゅうものは行きは空の丸籠を下げて石の上を跳ぶように行けるんじゃが、戻りは重とうなった荷物を下げて、ハマグリを掘ってくたびれたのが石ごつとうの浜道を歩く辛さ。行きの何倍にも感じられるんじゃが、歩かん事には家につかんのじゃから、泣き泣きでも歩く。よ

うやく家に着いても、今度は親がハマグリを活かす塩水を汲みに出て行く。

翌日には自分達が食べる分以外は、生でむき身にする。カレーを食べるスプーンの柄の部分を取ったような専用の道具で、貝殻の間に差し込んで貝柱を切って中身を取り出す。それを塩水の中に貯めておいて、ひとつずつシダの茎にハマグリの目を刺して行く。一本の茎に三十も並ぶかね。それをむき身が無くなるまで延々と作り、両端に紐を付けて物干し竿にスラリと干してゆく。天気と相談しながら、固く干したら飴色になって出来上がり。

それを一番の天津に乗って市場に売りに行く。あれだけ手が掛かっていただけ、どれくらいで売れたものか、子供の私は知りもせなかつたけど、あれは美味

しかった。めったに食べさせては貰えなかったけど、炭火で焙って香ばしいのを貰う嬉しさは今でもニンマリしてしまふね。それを出汁にして交ぜ飯にしたのも美味しかったね。

そんな思い出も今は昔。何がどうなったもんか、どの浜にもハマグリは居らんようになった。あの楽しかったハマグリ掘りも今は出来なくなってしまう。私は時々夢に見る。ハマグリ掘りに行っていっぱい掘る夢。嬉しいなあ楽しいなあ、あつ夢かあ。ガッカリ。いつか海のご機嫌が直ってハマグリがいっぱいいる浜になりますように。

その為に私達が出来る事はありますか？
※天津島では「アサリ」のことを「ハマグリ」と呼びます



【今後の主な島の行事予定】

- 11月11日(日) 回天追悼式
- 11月16日(金) 全国離島サミット
- 11月17日(土) アイランダー
- 2月11日(祝) 建国記念行事・文化祭

下記の行事につきましては諸般の理由で中止します。

- 12月ポテトマラソン、同会場準備等
- 12月16日(日) 砲台山整備

【編集後記】

駐在さんの赤ちゃん、インタビュー中はミルクを飲んだ後のようで、気持ちよさそうに寝ていました。

自分にもそんなかわいい(?)時代がありました、今となっては…(笑)。 文責：有井

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
1月1日 第265号

移動図書館 やまびこ号ジュニア

11月24日(土)、12月12日(水)

刈尾待合所 11:20~12:50

※馬島待合所につきましては豪雨災害による通行止めのため、しばらく休止します。

善意銀行への寄付にご協力ください

敬老会記念品配布について

今年度、敬老会が中止となりましたことから、各地区の福祉員さん・地区社協役員を通じ、対象者の皆様へ記念品を配布しました。

お知らせ

災害復旧情報

10月16日(火)海の郷及び天津島ふれあいセンターで地元説明会が開催されました。

道路課の説明では、災害当初には約300㎡の土砂が市道に崩れ落ち、これについては撤去したとのことでした。

しかし、復旧工事のための調査で、崩落現場の斜面にはまだ3600㎡程度の土砂が残っていることがわかり、現在も、再崩落の恐れがあることから、土砂の撤去作業等の工事が必要となりました。

このことから、当初予定していた工期より長引き、約1年後の来年11月末に復旧する見込みとのことでした。

復旧工事に時間を要し、住民の皆さま方には大変ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

きずな号ダイヤ変更

また、併せて11月1日より、天津地区内で運行中の「きず



災害直後の様子(馬島側より撮影)

な号」の運行ダイヤが変更になっていきます。ご利用の方方にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

巡航船の臨時ダイヤ

11月11日に開催される回天追悼式の開催にともない、天津島巡航の運航ダイヤが一部変更されています。コミュニティバスについては、通常通りの時刻表での運行になりますので、乗車されます方は乗り継ぎ等の時刻をご確認いただき、ご利用くださいようお願いいたします。

徳山湾見聞録

12 冬鳥たちがやってきました

文川回天記念館 三崎英和

季節は移り変わりもうじき冬がやってきます。私たちの周りにいる鳥たちも冬鳥が目に入るようになりました。冬鳥というと、島内でも間近で見られるものにシヨウビタキがいます。大きさはスズメ程度でお腹はオレンジ色、羽は黒色ですが両翼に白いやや大きい斑があるのですぐ分かります。人をあまり怖がらないので、記念館から港に向かう道でも何匹も見かけることができます。

ですが、「この街の季節は毎年、春、秋、春、秋とずっと続きました。」とそれすくくうらやましいことですよと答えたところ、「やっぱり、季節にメリハリがある日本の方がいいですよ」と返事してきました。 きっと人間という生物は、快適な環境を求めて生活拠点を果たしたとしても、結局は生まれ育ったところが一番いいーと思うのでしょね。



イラスト：三崎 英和